

高円宮賜杯 第42回全日本学童軟式野球大会川崎市予選

4チーム県予選会出場決定!!



川中島子ども会野球部

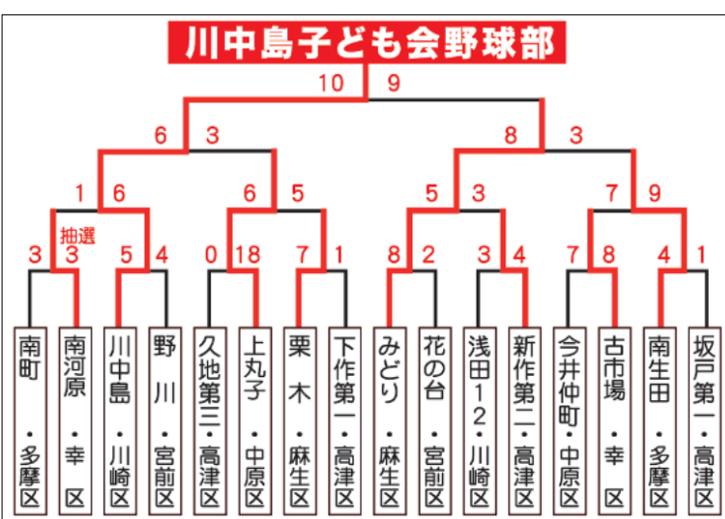
高円宮賜杯第42回全日本学童軟式野球大会川崎市予選(川崎野球協会主催、東京新聞など後援)が4月23、24日、川崎区の大師少年野球場で決勝などが行われ、川中島子ども会野球部(川崎区)がみどり少年野球クラブ(麻生区)と接戦で下し優勝。3位は上丸子ササズ(中原区)と南生田ウイングス(多摩区)。4チームは6月4日(土)と南生田から始まる県予選会に出場する。※準決勝の様子は2面参照

川崎東京会(東京新聞販売店)はかわさきスポーツを応援します。



準優勝したみどり少年野球クラブ

優勝した川中島の稲見主将は「みんなで声を出してチームを盛り上げられたので、優勝できたと思います。追い上げられたときは、負ける



優勝した川中島子ども会野球部  
決勝は、小雨が降る中、終盤までもつれた。三回表みどりは、天方大翔選手の特打2点本塁打で先制するも、その裏に川中島の反撃。前田峻選手の手を皮切りに、三つ

優勝

しかし、五回表2死からみどりも反撃。小川倅基主将の二塁打、相手敵失で1点を返すと、天方選手がこの日2本目となる2点本塁打で3点を返し4点差に。最終回も、長尾知樹選手の2点適時二塁打、宮崎陽成選手の犠打などで4点を返し1点差とするも、あと一歩及ばなかった。

優勝した川中島の稲見主将は「みんなで声を出してチームを盛り上げられたので、優勝できたと思います。追い上げられたときは、負ける



敢闘賞 天方大翔



最優秀選手賞(MVP) 前田芯太

の四球で押し出しの1点。稲見海和主将の2点適時二塁打、菅野裕生選手の2点適時打、山田光晟選手の適時打、前田峻選手のスライズで計7点を取り逆転。四回にも2点を挙げコールドゲームかと思われた。

時に、プレッシャーがかかってしまった。県大会では、優勝したいです」と話した。敢闘賞の天方選手は「ホームランを4本打ったのが良かった。県大会でもホームランを狙います」と元気いっぱいだった。

7月1日はミューザ川崎シンフォニーホールの開館記念日  
ウェルカム・コンサート  
♪ドビュッシー:交響詩「海」(解説付き)ほか  
出演:秋山和慶(指揮) ありさ先生(飯田有抄) あゆみちゃん(島田あゆみ) ひろむくん(釣舟大夢) 東京交響楽団(管弦楽)  
14:00開演 ミューザ川崎シンフォニーホール \*約70分途中休憩なし  
全席指定 | おとな ¥2,000 シニア(65歳以上) ¥1,500 (税込) | 子ども(4歳~中学3年生) ¥500  
ぬり絵&質問大募集!  
交響詩について、クラシックについて、音楽のいろいろなクエスチョンをみんなから募集するよ! ありさ先生が分かりやすくこたえます! 海のぬり絵も同時募集! どなたでもお気軽にどうぞ!  
\*ミューザ公式Webサイト「わくわくミューザ」で詳細をご確認のうえ、申し込みフォームからご応募ください。  
家族やお友達も誘ってミューザでワクワク体験!  
一般発売 5.12(木)  
ミューザの日  
わくわくミューザ | Q  
新型コロナウイルス感染症の影響により、公演内容、チケット発売、イベント等が変更になる場合がございます。最新情報はミューザ公式ホームページにてご確認ください。

# 高円宮賜杯 第42回全日本学童軟式野球大会

川崎市予選 準決勝

高円宮賜杯第42回全日本学童軟式野球大会川崎市予選の上位4チームは6月4日(土)から始まる同大会県予選に出場する。4月24日

に川崎区の大師少年野球場で準決勝2試合が行われた。中段は1・2回戦のスコア。  
※決勝の様子は1面



上丸子サンス

**川中島子ども会** **VS** **上丸子サンス**

準決勝の第1試合は、みんなが団結したい試合。川中島子ども会対上丸子サンス。サンスの選手たちは、投手は打たせて捕ちが、緊張したままプレイングを意識して、守備では、みんなでの始まりだった。

初回、サンスの先発は制球が定まらない。川中島は四者連続四球を選ぶ。この試合、サンスは、山田光晟選手のスクイズで計3点を挙げる。五回にも、4連打で3点を奪い勝負を決めた。

サンスも四回以降、松井大青選手と神田樹選手の安打などで3点を返したが、力及ばずゲームセットとなった。

サンスの和田隆平主将は「ちょっと悔しいが、上丸子サンス

みんなが団結したい試合だったと思う。県大会では、投手は打たせて捕るピッチングを意識して、守備では、みんな大きな声を出していいプレーができるようチームをまとめていきます」と県大会を見据えた。

この試合、サンスは、四球とエラーが多く、ベースをつかめないまま終わってしまったようだ。もう一度、投手、守備の調整を行い、県大会では勝利してほしい。

▽準決勝  
川中島子ども会野球部 30003 6  
上丸子サンス 00021 3

第2試合は、みどり少年野球クラブ対南生田ウイングス。

一回表南生田は、田淵大輝主将と茂市裕翔選手の連続ヒットでチャンスをつかむと、野尻月之丞選手の犠牲フライで先制。しかし、その裏みどりは、宮崎陽成選手の適時打と斉藤翔選手の2点適時打で3点を取り逆転。二回には、長尾知樹選手の適時二塁打、矢野大輝選手の適時打で2点、五回にも3点を追加。計8点を挙げ勝負を決めた。

南生田も三回、茂市選手の本塁打で1点、四回にも相手敵失で1点と2点差まで追い詰めるも、相手の勢いをくい止めることができなかった。

南生田の田淵主将は「相手に試合の流れを

持っていたのが大きい。2点差まで来たときは、ワンチャンスで追いつけると思った。エラーが多かったので、基本からのもう一度やり直し鍛えていきたい。県大会では、みんなが明るく元気になるような言葉をたくさんかけていきます」と前向きに話した。

この試合の南生田は、少し落ち着きが足りなかったようだ。もう少し冷静に試合に臨んでいたら、もっと拮抗(きつこ)した試合になっていただろう。県大会では、しっかりと構えて戦ってほしい。

▽準決勝  
南生田ウイングス 101100 3  
みどり少年野球クラブ 32003X 8



南生田ウイングス

1回戦		2回戦	
南河原リトルウイングス (幸区)	3-3	南河原リトルウイングス (幸区)	3-3
川中島子ども会 (川崎区)	5-4	川中島子ども会 (川崎区)	5-4
上丸子サンス (中原区)	18-4	上丸子サンス (中原区)	6-1
みどり少年野球クラブ (麻生区)	8-2	みどり少年野球クラブ (麻生区)	5-3
ジャイアンツ (麻生区)	7-1	ジャイアンツ (麻生区)	6-5
新作第二野球部 (高津区)	7-1	新作第二野球部 (高津区)	7-1
古市場子ども会 (幸区)	8-7	古市場子ども会 (幸区)	8-7
南生田ウイングス (多摩区)	4-1	南生田ウイングス (多摩区)	4-1
南河原リトルウイングス (高津区)	6-1	南河原リトルウイングス (高津区)	6-1
浅田ニテ自子ども会 (川崎区)	7-1	浅田ニテ自子ども会 (川崎区)	7-1
花の台フワーズ (宮前区)	2-0	花の台フワーズ (宮前区)	2-0
第一ベッパーズ (高津区)	1-0	第一ベッパーズ (高津区)	1-0
今井仲町子ども会 (中原区)	7-0	今井仲町子ども会 (中原区)	7-0
坂台第一ウイングス (高津区)	4-1	坂台第一ウイングス (高津区)	4-1
栗木アンツ (高津区)	7-1	栗木アンツ (高津区)	7-1
新井野球場 (高津区)	7-1	新井野球場 (高津区)	7-1
今井仲町子ども会 (中原区)	7-0	今井仲町子ども会 (中原区)	7-0
野球場 (高津区)	9-7	野球場 (高津区)	9-7

## 好投!好守!激走! 川崎市予選 熱戦の様子





カローリングを楽しむ参加者たち(4月18日、川崎区で)

# 予約不要で誰でも参加できる ボッチャ・カローリング教室

## 月に2回 カルッツかわさき小体育室で

パラリンピックの正式種目「ボッチャ」と、氷上の競技・カローリングを床の上で手軽に楽しめる「カローリング」の教室が4月18日、カルッツかわさき(川崎区富士見)小体育室であった。

主催は川崎区。障がいの有無や年齢、性別に関係なく楽しめる両競技に親しんでもらおうと、2019年にスタートした教室で、総合型地域スポーツクラブ「フアンズスポーツクラブ川崎」が運営している。

事前予約は不要で、誰でも無料で参加可能。現在は月2回、月曜日に行われている。1人で参加している人も多く、その場で3人1組のチームを結成。対戦形式で競技を進めていく。

「その日初めて会った人同士でも、試合をするうちに仲良くなっている」と同クラブ理事の長井秀憲さん。車いすに乗った状態でもカローリングができるようオリジナルのスティックなどが用意され、初級障害者スポーツ指導員の有資格者が競技を見守る。



ボッチャでは良いプレーが出ると「ナイスボール！」の歓声も

この日は市民を中心に25人が参加。用意された本格的なコートで3対3のチーム戦を約1時間実施。ボッチャでは相手の球を弾くと「ナイスボール」、カローリングでは「カローリング」の体操にもなるので毎週は「4月には地元老人会にボッチャクラブを作ろう」と話していた。

6月は6日と20日に開催予定。教室に関する問い合わせは、フアンズスポーツクラブ川崎 070(6573)8631まで。

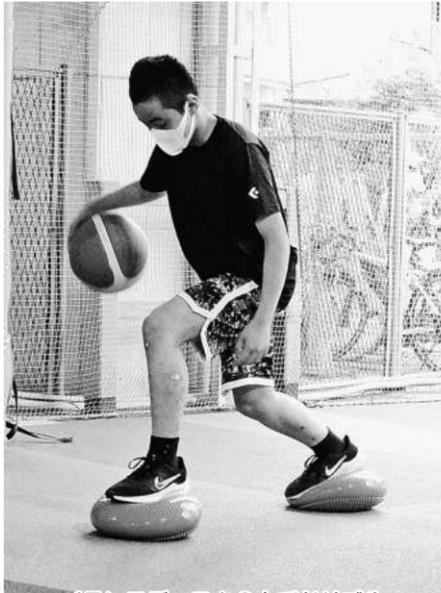
# 土・日曜の夕方、武蔵小杉駅前で開催 体幹を鍛え、けがをしない体作りを 小学生～高校生対象のフィジカルクリニック



体の使い方を指導する奥山さん(右)

男子プロバスケットボール「川崎ブレイブサンダース」が開設した、バスケットゴールのある施設「ザ・ライトハウス・カワサキ・ブレイブサンダース」(中原区)では、外遊びがなかなかできない子どもたちのために、フィジカルクリニックを始めた。

小学生から高校生を対象に、土・日曜日の夕方開催。体幹を鍛え、筋力をつけ、柔軟性を養い、けがをしない体作りを目指す。普段、運動をしていない人たちに良さそうな動きばかりだ。クラスは学年別3クラスに分けられている。



バランスディスクの上でドリブル

バスケットボールに限らず、テニス、山さんについて「優しい陸上などあらゆるスポーツのトレーニングのトレーナーがやけに精進している。奥山さんは「希望があれば伝えてほしい。取り組んでいるスポーツがあれば、その動きに特化したトレーニングを組み込める。わざと違うスポーツのトレーニングをする、という手もある。トランスフォームを続けたい、という手もある。トランスフォームを続けたい、という手もある。トランスフォームを続けたい、という手もある。」



つま先にマーカースティックを載せて

申し込みはここから



団体戦の決勝。先鋒 右が藤田選手

# 約60人が全国大会の出場権かけ熱戦 はやの柔道クラブA 団体戦優勝

## 第66回川崎市こども相撲大会



団体戦優勝の「はやの柔道クラブA」左から杉村、後藤、藤田選手

「第66回川崎市こども相撲大会」(川崎市スポーツ協会主催)が5月7日、川崎区にある川崎市富士見相撲場3～6年生の男女合わせて約60人が競った。時折、小雨がぱらつく中、試合が次々行われた。小柄な選手が大柄な選手に勝ったり、女子選手が男子選手に勝ったり、なかなか勝負が決まらなかったり。負けて涙する選手も。観客からは試合のたびに大きな拍手が上がった。選手の似顔絵を描いたうちわを持ち応援する人も見られた。

団体戦は1チーム3人。藤田大輝選手(4年)、杉村翔空選手(5年)、後藤悠大選手(6年)がメンバーの「はやの柔道クラブA」(麻生区)が20チームの頂点に立った。決勝は、藤田選手と杉村選手が勝ち、優勝が決した。大将の後藤選手は「優勝が決まってくれよかった。自分は決勝で負けてしまった。すごく大きくて難しい相手だった」と振り返った。



6年生の部 水野大地選手



5年生の部 平野純真(じゅんと)選手



4年生の部 喜屋武(きやん) 真太郎選手



3年生の部 金子元気選手

個人戦・優勝者

# 第42回 高円宮賜杯 全日本学童軟式野球大会 川崎市予選

## 区の代表チーム決まる!



第42回高円宮賜杯全日本学童軟式野球大会川崎市予選出場を目指し、各区で熱戦が繰り広げられた。出場枠は16。昨年、市大会で優勝、準優勝した高津区が4チーム、他6区が2チーム。高津区、川崎区、麻生区の決勝の様子をレポートする。

※市大会予選決勝の様子は1面、準決勝の様子は2面参照

### 高津区 3月27日 瀬田少年野球場ほか

**優勝** 新作第二少年野球部  
**準優勝** 下作延第一ペッパーズ

**3位** 坂戸第一ドジャース  
**4位** 久地第三レッズ



優勝の新作第二少年野球部



準優勝の下作延第一ペッパーズ



3位の坂戸第一ドジャース



4位の久地第三レッズ

第28回高津区春季少年野球大会兼全日本学童軟式野球高津区予選大会(同少年野球連盟主催、東京新聞など後援)の決勝などが3月27日、同区の瀬田少年野球場ほかで行われ、新作第二少年野球部が下作延第一ペッパーズを下し優勝した。福田舜主将は「チームとを必ずできるようにみんなのおかげで優勝できてうれしいです。市大会でもみんなで協力し、コーチに言われていることをしっかりやり、ピンチでも大きな声を出して、チームを引っ張って、チームを引っ張って、チームを引っ張って、チームを引っ張って」と両者は市大会への抱負を話した。試合結果は次の通り。

▽準決勝  
新作第二4-1久地第三  
坂戸第一4-3久地第三

▽決勝  
新作第二1-0坂戸第一

3位決定戦  
下作延第一1-0坂戸第一

1-0  
201010-4  
02411X-8

練習を行い、新作第二少年野球部教わったこと

田中希世士 坂戸第一  
主将は「一気」  
合を入れて  
平日の自主  
練習を行い、  
教わったこと

### 川崎区 3月21日 大師少年野球場

**優勝** 川中島子ども会野球部  
**準優勝** 浅田一・二丁目子ども会野球部



優勝の川中島子ども会野球部



準優勝の浅田一・二丁目子ども会野球部

川崎ライオンズクラブ旗争奪第28回全日本学童軟式野球川崎区大会(同連盟主催、東京新聞など後援)の決勝などが3月21日、同区大師少年野球場で行われ、川中島子ども会野球部が浅田一・二丁目子ども会野球部を下し、優勝した。

川中島は、太選手を皮切りとして、相手投手を打ち、2点を先制。四回表は、相手投手のボールで1点を挙げる。前田、稲見海和選手との投手リレーで完封。

稲見主将は「みんなが協力し、ピッチャーをもち立てて勝てた優勝だと思います。市大会では、全てをレベルアップして臨みたい」と笑顔で答えた。敗れた浅田の山中煌介主将は「悔しいです。市大会では、四球を減らし、ボール球には手を出さず、1点ずつ取って行く野球をしていきます」と唇をかみしめた。

試合結果は次の通り。

▽準決勝  
川中島12-2台町  
浅田一・二丁目1-1大島三

▽決勝  
川中島子ども会野球部  
200100-3  
000000-0  
浅田一・二丁目子ども会野球部

### 麻生区 3月27日 虹ヶ丘少年野球場

**優勝** 栗木ジャイアンツ  
**準優勝** みどり少年野球クラブ



優勝の栗木ジャイアンツ



準優勝のみどり少年野球クラブ

第15回麻生区学童軟式少年野球連盟主催、東京新聞など後援)の決勝などが3月26、27日、区内の虹ヶ丘少年野球場で行われ、栗木ジャイアンツがみどり少年野球クラブを下し、優勝した。栗木は一回、敵失や小放ったが及ばなかった。栗木の岡田主将は「試合前に元気をだして、こうと皆に伝えた。投球では緊張がほぐれ腕が良く振られてストライク先行でいった。みどりの小川主将は「市大会では3位までに入り県大会に進みたい」と話した。

試合結果は次の通り。

▽準決勝  
栗木6-1若葉  
みどり4-0千代ヶ丘

▽3位決定戦  
若葉3-2千代ヶ丘

▽決勝  
みどり少年野球クラブ  
001000-1  
07000X-7  
栗木ジャイアンツ

かわさきスポーツは、川崎市・スポーツ協会・教育委員会の協力で発行しています。

【優秀賞】稲見海和(川)  
【敢闘賞】大保弥永(浅)